

移住サポート通信 ～連載第23回～

移住サポートセンター 3期目スタート

小川町移住サポートセンター（以下センター）は、このたび開所から3期目を迎えることができました。町内の方のご協力、ご利用にこの場を借りて感謝申し上げます。

センターを介し、2年間で32件の町外からの移住や2地域居住、空き家・空き店舗の活用（町内在住や町内で店舗を持っていた方を含む）が実現しました。

平成29年度移住者の傾向

- ①埼玉県内からの移住50%（県南地区からの移住が多い傾向）
- ②県外からの移住50%（東京都、神奈川県からの移住が大半）
- ③移住者の平均年齢35歳（20代単身の方の割合が増加傾向）
- ④20～30代の定住（家や土地の購入）者が増加傾向

物件の情報提供件数も徐々に増えてきていますが、まだまだ募集中です。特に庭や農地がある家が人気です。片付け前、修繕前でも構いませんのでお気軽にお問合せください。

★お知らせ

旧小川小学校下里分校にできた分校cafe MOZART（モザート）／無料休憩所でも、週末には移住サポートセンターのサテライトオフィスとして移住や空き家のご相談を受け付けています。お気軽にスタッフにお声がけください。

MOZARTは水曜日～日曜日（午前11時～午後3時）に営業しています！



小川町移住サポートセンター

楽市おがわ2階 ☎74-1515

火～日曜日 午前9時30分～午後5時



サテライトオフィススタッフ

～ おがわまちが好きだから もっと知りたい ～

観光案内所「楽市おがわ」通信 ～連載第12回～

小川町が一年で一番、にぎわう日！

第70回記念小川町七夕まつりの日程が7月28日（土）・29日（日）に決定しました。

今年は節目の70回目。どんな催しものがあるか楽しみですね♪

観光案内所では小川和紙をつかった「ミニくす玉キット」好評発売中です。ご自宅に飾って七タムードを楽しみませんか？そして！観光案内所「楽市おがわ」に新しい案内板が設置されました。町内のイベント情報を発信していきますので、前を通るときにぜひチェックしてみてください！



「楽市おがわ」

営業時間 午前9時30分～午後5時（月曜休館）

☎74-1515

正午の音楽の編曲に対する感謝状を贈呈しました

4月24日、町は園田圭一氏（鳩山町）に、「小京都おがわ」を防災行政無線の正午の音楽として編曲していただいた功績を称えるため、感謝状を贈呈しました。この「小京都おがわ」は、20年前に大谷佳子氏（大塚）が小川町の美しい自然と情景を詩に書きとめ、当時、小川高校の音楽の先生であった園田圭一氏が作曲しました。防災行政無線の正午の音楽が「小京都おがわ」となったのも、作曲者である園田氏が楽曲使用をご快諾いただき、さらには編曲をしていただいたことから実現したものです。

園田氏は、「小京都おがわ」が流れることによって、小川町の良さを再認識していただければ幸いです、とお話しされました。



問合せ 防災地域支援課 防災安全担当 ☎⑨351

「小京都おがわ」の歌詞は次のとおりです  
大谷佳子作詞 園田圭一作曲

恵みの水は 笠山生れ  
盆地潤す 楓川の  
流れがかる 手漉き和紙  
鹹も群れて 清流の町  
ここは武蔵の 小京都おがわ

風が季節を うたって渡る  
春はカタクリ 花の寺  
歴史をかざる 七夕の  
藁も旧き 酒蔵の町  
ここは武蔵の 小京都おがわ

ここで生れて この地で育ち  
ここで出逢って この縁  
一木一草 人と人  
生かされ生きて ふれあいの町  
ここは武蔵の 小京都おがわ

地域経済活性化フォーラムが開催されました

地域経済活性化フォーラム（小川町・嵐山町）が、財務省関東財務局の主催により、4月20日にリリックおがわで開催されました。

地元の「経済団体」「金融機関」「行政機関」等が一堂に会し、「小京都の連携による観光振興」をテーマに、地域経済の活性化に向けた取組の提案や意見交換等が行われ、今後、小川町を含む参加団体の実務担当者により、具体的な施策を協議していくことが決まりました。

問合せ 政策推進課 ☎⑨223



稲荷町設置の鯉のぼり

4月、5月の連休にあわせ、大字小川地内（馬橋付近）へ鯉のぼりの飾り付けが実施されました。

